

「 福島市西部勤労者研修センター 」 指定管理者候補者の選定結果について

1 選定経過

	期日	項目	内容
1	4月26日	非公募指定管理者候補者を選定 (福島市行財政改革推進本部)	「 福島西部地区立地企業連絡協議会 」を指定管理者候補者として選定
2	9月3日～6日	指定申請書受付 (企業立地課)	申請書類の内容等点検、受付
3	9月27日	第1次審査 (商工観光部指定管理者管理運営委員会)	評価項目:7項目 ・各評価項目について評価(配分等詳細は審査集計表による) ・委員持点:各評価項目それぞれ10点
4	10月9日	第2次審査 (福島市指定管理者選定委員会)	・商工観光部指定管理者管理運営委員会第1次審査の結果報告 ・指定管理者候補者を決定

2 指定管理者候補者

- ・「福島西部地区立地企業連絡協議会」／最終合計点：71.03点

3 審査結果

【審査集計表】

評価項目	配分	評価点数
ア 施設の設置目的の理解	10%	5.80点
イ 施設利用者サービスの観点にたった施設利用促進の考え方	30%	16.50点
ウ 指定管理料(費用)の設定の考え方	15%	13.50点
エ 施設の維持管理に関する考え方	10%	5.50点
オ 関係法令等の遵守に関する考え方	5%	2.75点
カ 社会的価値の実現	15%	7.95点
キ 安定した施設運営	15%	10.13点
合計	100%	62.13点
※管理運営委員会委員が9名につき1項目90点満点⇒7項目全てで100点満点換算した合計点		69.03点
上記採点結果に【インセンティブ加点】した最終合計点		71.03点
<p>【評価コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的や現状分析を踏まえこれまでの管理実績に裏付けされた、適正かつ現実的な運営方針と目標設定である。 ・施設の利用促進及び環境改善を図るため、ターゲットを明確にした周知や利用者要望の掲示など、新たな取り組みが提案されている。 <p>以上のことから総合的に判断し、当該施設を管理運営するうえで適当な団体であると評価した。</p>		

4 参考

■提案内容の評価の視点

ア 施設の設置目的の理解

- ① 管理運営方針は、施設の設置目的に沿っているか
- ② 目標値及び重視するサービス項目の設定が的確であるか

イ 施設利用者サービスの観点にたった利用促進の考え方

- ① 上記①、②を踏まえ、利用者に対するサービス向上が見込まれる提案となっているか

ウ 指定管理料（費用）設定の考え方

- ① 必要な費目の設定が的確であり、積算の内容が妥当か

エ 施設の維持管理に関する考え方

- ① 管理保守点検等の施設管理計画が妥当か

オ 関係法令等の遵守に関する考え方

- ① 個人情報保護及び秘密漏洩防止について理解され、組織として適正な対策が講じられているか

カ 社会的価値の実現

- ① 雇用や労働条件等に配慮した取り組みを行っているか

キ 安定した施設運営

- ① 安定した施設管理に必要な業務遂行能力を有する職員計画となっているか。
- ② 同様な施設の施設管理の実績があり、十分なものか。
- ③ 団体の経営状況は良好か

■指定管理者採点におけるインセンティブの付与について

1. 趣 旨

利用者へのサービス向上と施設管理の安定性、継続性の観点から、優良、適正に業務を行っている指定管理者については、第3期の業務実績評価を活用して第4期からインセンティブを付与する。

2. インセンティブ方法

- ①これまでの指定管理者については、平成26～29年度の4カ年の指定期間の評価結果（※1）を基に、「加点」する。

- ・総合評価A（優れている）⇒1年当たり：+1点加点
- ・総合評価B（適正である）⇒1年当たり：+0.5点加点
- ・総合評価C（問題がある）⇒1年当たり：加点なし

※1：評価結果（A・B・C）は、毎年度、各部指定管理者管理運営委員会で決定後、ホームページで公表しているもの。

②上記①に基づき算出した加点数を、各部指定管理者管理運営委員会の採点結果（各管理運営委員会により審査委員数が異なるため、採点結果を100点満点に換算後）に加点する。

③評価の異なる複数の施設を一括して公募（または非公募）する場合には、まず、施設ごとに加点数を算出し、その合計点を該当施設数で除した上でこれまでの指定管理者へ付与する。（※小数点第2位を四捨五入）